

平成 30 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会 議事録

場所：佐世保市役所 5 階 庁議室

時間：平成 31 年 3 月 28 日（木）10:00～11:10

《 1. 開会 》

（事務局：福井）

定刻となりましたので、ただいまから平成 30 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

私は、本協議会事務局で佐世保市地域交通課の福井と申します。進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いたします。

協議会の開催にあたり、会の成立要件の確認ですが、協議会規約第 7 条第 2 項に「構成員の過半数以上の出席により成立する」とあります。本日は、委員 21 名のうち、代理出席も含めて 16 名のご出席をいただき、協議会の成立要件を満たしていることをご報告いたします。

本日の議題でございますが、お手元の会次第にありますように、平成 31 年度予算について、それからその佐世保市地域公共交通網形成計画の進捗状況についてでございます。

この形成計画については、本協議会で毎回、進捗管理を行っておりますが、形成計画を進めて行くうえで重要な計画となりますのが、再編実施計画です。これまで作成状況の中間報告をさせていただいておりましたが、先月 2 月 7 日に国から認可いただきまして、この 3 月 1 日から 3 ケ年の期間として計画が開始されております。

作成当初から九州運輸局、長崎運輸支局様におかれましては、継続してご指導いただいております。また、申請の際には公共交通事業者様から同意書の提出や、道路管理者及び公安委員会様からの意見聴取等、各種手続きにご協力いただきました。改めましてお礼申し上げます。

本日は、策定しました再編実施計画をご紹介したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、協議会規約第 7 条 4 項に基づき、公開とさせていただきたいと思しますので、ご了承くださいませようお願いします。

《 2. 会長挨拶 》

（事務局：福井）

それでは協議会を開催するにあたって、はじめに本協議会の会長である佐世保市の朝長市長がご挨拶申し上げます。

（朝長市長）

本日はお忙しい中、平成 30 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会へご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の市政推進へご理解とご協力を賜り、この場

をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

皆様もご承知のとおり、先日 3 月 24 日（日曜日）から西肥自動車さんを中心とした新たな運行体制によるバスの運行が開始されました。

前日の 23 日には、交通局による運行終了式を執り行うとともに、これまでの感謝の意味をこめまして、その日は市営バス 1 日無料乗り放題サービスをしたところです。

このような日を迎えられましたのも、平成 26 年度の本協議会の立ち上げ以降、公共交通再編に向けた協議会での調査事業を基に協議が進んでいった結果でございます。その間、本日も入れて 17 回、協議会を開催し、皆様からのご意見、ご助言をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

また、平成 31 年 3 月から 3 年間のバスサービスを形にした、地域公共交通再編実施計画が 2 月 7 日、正式に国から認定をいただき、法的にもこの計画のサービス基準が確認されたところです。バス事業者さんには計画順守にご尽力いただきますようお願いいたします。

国のご担当者の皆様におかれましては、認定のため膨大なチェック作業を行っていただくとともに、適切なアドバイス等、ご配慮いただきまして感謝申し上げます。

本協議会の公共交通活性化に向けた取り組みは、これで終わりではなく、これからもマスタープランとなります地域公共交通網形成計画の進捗を図りながら、利便性向上策に着手していく必要がございます。

本日の協議会は、計画の進捗状況報告のほか、来年度予算の審議及び 3 月 24 日からの新たなバスサービスの内容についてもご紹介があるとのことです。

今後の公共交通の利便性向上をめざし、皆様からの忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。

結びになりますが、委員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、本日のご挨拶といたします。

（事務局：福井）

ありがとうございました。

それでは、ここからは朝長会長に進行をお願いしたいと思います。朝長会長、よろしく申し上げます。

《 3. 議題 》

（朝長会長）

ここからは私が議事の進行をさせていただきます。お手元の会次第に沿って進めてまいります。

まずは会次第の 3 つ目でございますが、本日の議題の一番目として、

（ 1 ）平成 31 年度予算について

となっております。それでは事務局から説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。

事務局の説明について、何かご質問等はございませんか。

(交通局：田崎委員)

今31年度の予算が提案されたところですが、2月7日に再編実施計画が認可されました。この実施計画については、3か年の期間、進捗についてはこの協議会で見守っていくという趣旨だと思いますが、そうなるとこの活性化協議会は向こう3年は継続する、加えて3年後の形についても実施計画相当の計画も作っていくのだという考え方であろうと思っております。そうなってくると次の3年間もこの協議会が存続していく、こういう考え方でよろしいのか確認でございます。

(事務局：中西)

この再編実施計画の上位計画として、公共交通網形成計画がございます。これが平成36年度までということの10年間で策定しており、再編実施計画はその下部の計画ということで、34年2月までということでございますので、まずはこの形成計画の36年度までにつきましてはこの協議会は存続していただき、網形成計画自体の状況を確認していただく、ということが一つです。

再編実施計画が34年2月で終わりましたら、今の佐世保市、西肥自動車、させぼバスとの考え方はそれ以降にまた継続して新たな再編実施計画を作ろうと話をしておりますので、まずは10年というのは今のところはっきりと決まっています。再編実施計画はそれ以降話をしていつまでにするのかということで、繰り返しやっ払いこうと考えております。

(交通局：田崎委員)

協議会はその期間は存続していくということですね。

(事務局：中西)

この形成計画自体と協議会は一体という風に考えておりますので、少なくとも今はっきりと既存のものとして明示しているのが36年度まで、それ以降もやはり地域公共交通というのは今後も継続して皆さんで考えていくものとなると考えておりますので、それ以降についても継続したいと考えております。

(朝長会長)

よろしいですか。

(交通局：田崎委員)

はい、ありがとうございました。

(朝長会長)

他にございませんか。他にございませんでしたら、協議会としてこの案を承認とさせていただきますようお願いいたします。

(はいの声)

(朝長会長)

それでは次の、佐世保市地域公共交通網形成計画の進捗状況についてに移らせていただきます。進捗状況のご報告として、様々な説明資料があるようですので、まずは今回策定されました再編実施計画と新たなバスサービスについて説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。

3月24日から新たな運行体制でバスの運行が開始されておりますが、バス事業者におかれては移行の作業のご苦労は大変なものであったと思います。お疲れ様でした。ご苦労されたことや利用者の皆様の状況等、どのようなものか、それぞれバス事業者さんよりお話をお伺いしたいと思いますが、西肥自動車様いかがでしょうか。

(西肥自動車：川口委員)

公共交通機関としての念願でございました運行体制の一体化につきましては、委員、オブザーバーの皆様にはその都度適切なご助言をいただきまして本当にありがとうございました。お陰様で3月24日に運行体制の一体化が実行されまして、無事に運行しているところでございます。その後の状況で1つ2つご紹介させていただきます。

佐世保駅前のバスの乗り場が変わったということで、当社の担当社員を配置しまして対応をいたしました。私も出向いてみましたが、いろいろなご意見やお尋ねがあったということで、配置してよかったのではないかと考えております。中にはありがたいことなのですが、お客様の中には定期券、リフレッシュパスでどのバスにも乗れるということで、非常に便利になったというお言葉をいただいておりますし、西肥バス1日乗車券、若干値上がりしておりますが、エリアも拡大されてよかったということも聞かれております。今後も地域の足、公共交通機関として、佐世保市内の路線の運行に関しましては、安全性の確保はもちろんでございますが、さらなる利便性の向上のために、ご利用いただくお客様のために全力で取り組むことが私ども西肥バスの重要な責務だと思っておりますので、今後もそうしていくつもりでおります。

利便性向上に関しましては、来年3月から全国相互利用カード「ニモカ」の導入が長崎県バス協会と決定しており、補助金のお願いについて、国交省に2回、また県にもさせていただきました。市町では特に朝長市長にはバス協会としての要望を100%お聞き入れくださいますようお願いいたします。

本当に感謝しております。さらなる利便性を向上させていこうと思っております。

今後は、佐世保市民の皆様の期待に応えられるように、運転士不足と厳しい経営環境もごありますが、路線とダイヤの確保というのが非常に重要であると思っておりますので、私ども西肥バスとさせぼバスが一丸となりまして努力して、確保にまい進していきたいと思っております。

今後とも、本日ご出席の委員とオブザーバーの皆様には変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

(朝長会長)

ありがとうございました。それではさせぼバス様お願いします。

(させぼバス：中島委員)

私たちはずっと交通局から委託を受けてバスを運行してまいりました。交通局との間の受委託については、もちろん会社自体が交通局の中から生まれた会社でございますので、勤務条件やその他交通局と同じ条件でやってきておりましたし、当社からも交通局にお願いしてやっておりましたので大きな不都合は感じておりませんでした。今回の一体化は全く別会社の西肥自動車様と一緒に走るということですので、それぞれ勤務時間も違いますし、同じバスを走らせると言っても仕事のやり方、または帳票の様式からみんな違うものを全て調整しなければならないという中で、それぞれの部門で長期間にわたって調整作業をしてきたということは大変だったと思っております。

一体化後はもう少し色々な問い合わせ等があると思っておりましたが、そういったことも特になく、上々のスタートではなかろうかと思っております。

私自身も日頃バスを利用しており、この一体化によりまして両方のバスを利用させていただいておりますが、定期券をお持ちの方は便利になると思えます。私自身便利になったと感じておりますので、皆様方もそう思いいらっしゃると考えていいのではないかと感じております。

今後につきましては、バス路線を維持するためにこの2社体制で行くのがベストだということと判断されたということをご認識いたしまして、また長年運行してきた交通局の思いも引き継いでいまして、少しでも長くバス路線を維持していきたいと思っておりますので、皆様、今後とも応援よろしくお願いいたします。

(朝長会長)

ありがとうございました。それでは交通局長お願いいたします。

(交通局：田崎委員)

私からはお礼ということで一言述べさせていただきます。

昭和2年から92年の間走り続けてまいりました交通局をいよいよ閉じることになりました。我々の路線としては3月23日土曜日を最終日と定めて、一日全線無料ということで対応させていただきました。おそらく2倍、3倍のお客様にご利用いただいたのではないかと思います。各バス立ち乗りでぎゅうぎゅうになり、ちょうど展海峰が菜の花の時期で、お客

様を乗せきれずに臨時便を出した状況でした。こんな状況が昔から毎日続いていけばな、と考えたところでしたが、いずれにしても 92 年という幕を閉じることになりました。これまでの皆様のご愛顧に、あらためて感謝を申し上げます。

新しい体制が 24 日から始まりまして、本日で 5 日目ということでございます。お客様に信用、信頼される運行体制になればと祈っております。お世話になりました。

(朝長会長)

ありがとうございました。引き続き両社におかれましてはよろしく願いいたします。
委員の皆様からこれまでの説明について何か質問等ございませんでしょうか。

(松浦鉄道：藤井委員)

西肥バスと市営バスの色はしばらく変わらないとのことですが、これは路線としても従来の形で走るということですか。私は市の南部に住んでおりますが、バスに乗るときに大宮周りと国道周りとなるのでしょうか？という声を聞きました。西肥バスは今まで国道周りを、市営バスは大宮を回っていました。大宮町や大和町に行きたいときは、従来通りの今で考えてよろしいのですか。

もう一つ、医療センター行きのバスが南部から走ってくるときに、現在の時刻表を見たところ、7 時 45 分頃に 1 本あります。ちょうど病院に 8 時半ごろ着く非常にいい時間に設定してあります。その後 10 時台に 1 本、12 時以降に毎時あります。将来バスの色が一緒になったらどうなるのか、しばらくは色で区別していいのか、お聞きしたいと思います。

(朝長会長)

それでは西肥自動車様お願いします。

(西肥自動車：中塚本部長)

委員ではございませんがダイヤの詳細というお話ですのでせん越ですがご説明いたします。
基本的に市営バスの路線はさせばバスに委託をします。西肥バスはこれまでの路線を運行するというので、西肥バス、市営バス、お互い慣れて走っている路線をしばらくは走るのが前提でございます。

大宮経由と藤原経由はこれまで西肥バスも大宮経由は今までも運行しておりますので、便数は調整の中で変わっておりますが、市の南部からですと大宮経由便も今回系統の変更でできているという状況です。

また医療センター行きのダイヤの問題については、今回 27 年から運転士不足もあり若干運行本数を減らせていただいておりますが、バランスが若干おかしいのではないかとご質問かと思いますが、何とか皆様の利便性を損なわないような形で系統の整理をさせていただいておりますので、今後もお客様の動向については注視して確認をしていきたいと思っております。

(朝長会長)

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

(松浦鉄道：藤井委員)

はい。

(朝長会長)

それでは引き続きよろしくお願いいたします。

委員の皆様からこれまでの説明について何かご質問等ございませんか。

《質問等なし》

(朝長会長)

それでは次の公共交通網形成計画の進捗状況について、事務局から続けて事務局の説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。

事務局からの説明の中でありましたように、前回協議会から鉄道とバスの連携の一環として、お互いの駅・バス停に時刻表を貼ってはどうか、という話が出ておりました。これについて事務局から進捗状況の報告をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。

委員の皆さまから、これまでの説明について何かご質問等、ございませんでしょうか。

《質問等なし》

(朝長会長)

ありがとうございました。それでは今後の協議予定に移ります。

今後、本協議会の中で議論したい議題について、利用者代表委員の方からご提案頂いたと聞いております。それでは事務局より説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。ご提案いただきました委員のほうから補足説明等ありましたら、よろしくをお願いします。

(佐世保市商店街連合会：竹本委員)

例えば東京に行った時にツールとして必要なのが乗り換え案内とICカードです。これがないとどこにも行けないという感じです。特に乗換案内はスタートするところと目的地を入れさえすれば、どこで乗り換えて何時何分に到着するというところまで、5経路ほど出てきます。駅の混雑等も非常に簡略化されていると痛感しております。今、西鉄バスではそういうツールがあり、乗り場と行先を入れると何時何分に出発しますというのが出てきて、一番すごいのはそのバスは今どの辺にいます、何分後に到着予定です、ということまで出てきます。費用の掛かる問題だと思いますが、このシステムをぜひとも使っていただくと利便性が上がるのではないかと感じます。

(朝長会長)

ありがとうございました。

これについて九州運輸局の鈴木交通企画課長も国としてのご判断もあると思いますので、補足がございましたらお願いいたします。

(九州運輸局交通政策部：鈴木オブザーバー)

私から簡単に説明させていただきます。

資料に標準的なバス情報フォーマット策定の経緯とありますが、インターネットの経路検索について国としてどういう認識でいるのか、どういう風に取り組んでいるのか簡単にご紹介させていただきます。

資料に政府の方針等とありますが、こちらが経路検索に対して国交省、中央政府としてどういう目標でいるかということでございます。スマートフォンや各種情報案内設備を利用した情報提供方法を進めて行きましょうという話が記載されています。また観光ビジョンにも訪日客に向けた情報発信としまして、2020年までに経路検索を外国語対応も含めて可能にしていきたいと思いますという目標を掲げさせていただいています。

最近マースという言葉が色んなところにあるかと思いますが、検索から予約、決済、支払、実際に使うところまでを一か所のサービスとして扱うようなそういう概念がマースです。そういったマースもサービスの前提としても経路検索に向けたデータ整備は大前提の話だと思っております。

インターネットの経路検索というのはスマホを通じて非常に使われているという実態があります。国交省としてもそれをより進めて行くために、昨年度一つ取り組みをしました。それがデータを事業者から経路検索サービスへどういう橋渡しをしてつなぐかというものを、簡単につなぐために双方が使いやすいフォーマットを今作っております。これを事業者から経路検索サービスへつなぐとすぐ経路検索の対象にさせていただけるというような形のフォーマット

を作っているところでございます。資料に記載しているジョルダン、ヴァル研究所、エキスパート、ナビタイム、エキタンといったところがあります。こういった国内の経路検索の事業者だと色々な形のデータで受け付けてくれたり、独自に整理したりというのがありますが、グーグルですと特定のフォーマットではないと受け付けられないというのが現状としてありますので、ここで記載している標準的なフォーマットを作ればグーグルにも受け付けていただけるという内容になっています。

私の理解が間違っていたら恐縮なのですが、西肥バスの場合ですと国内の経路検索事業者には大体載っているのかと思っており、ジョルダン、エキスパート、ナビタイム、エキタンには西肥バスの時刻表データは入っていると思っています。しかしグーグルはまだ検索には載っていないと思いますので、今後その取り組みを進めるのであれば、フォーマットを作ってグーグルにつながる必要があると思います。

そのフォーマットが現状どうなっているのか、資料右側の日本地図をご覧くださいと、日本全国このフォーマットを活用して経路検索を充実させていくという取り組みが進んでいます。コミュニティバスが多いのですが、大手では山梨交通や富士急、岡山は事業者の皆さんがこのフォーマットを活用して経路検索を充実させています。岡山はリアルタイムデータの付いたバスロケーションシステムを活用して取り組みを進めております。九州では佐賀県がされておりますし、他の県でもこのフォーマットを活用した取り組みが進んでいるところです。今、運輸局でも経路検索を充実させようという取り組みがすごく問題意識としてありまして、サポート事業と銘打っていろいろな取組を行っています。経路検索をするためにどういふことをしなければならぬのかマニュアルを作ったり、実際に作りたい方にアドバイスをしたり、経路検索の事業者を紹介したり、そういったアドバイスを強力に進めさせていただいております。大手ですと誰がどういふ風にデータを作っていくのか様々なパターンがありますので、スケジュールや現状も含めて西肥自動車様や佐世保市からご相談をいただければ、ぜひぜひ一緒に打合せをさせていただき進めて行ければと思っていますところです。

(朝長会長)

ありがとうございました。

ただいま、竹本委員、鈴木オブザーバーより補足をいただきましたが、これにつきましてご質問、ご意見等ございませんか。

《質問等なし》

(朝長会長)

無いようでございますね。

これは新しい取り組みということになりますと思いますし、将来的には必ずそうなるのではないかと思いますので、ぜひ西肥自動車様におかれましては積極的な取り組みをしていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは最後に、再編実施計画は策定しましたが、策定した後の注意点等、国の方からのア

ドバイス等ございましたらお願いします。

(九州運輸局交通政策部：鈴木オブザーバー)

再編の取り組み、本当にお疲れ様でした。長きにわたって網計画を作ってから足掛け 4 年、ずっと佐世保市が音頭を取っていただき検討を進められて、このたびやっと再編ができたのかなと思っております。今回の再編ですが、国としても他にあまり例がなく、すごいものだと思っており、それは何かというと、元々の趣旨が元気なうちに見直して持続可能な形にしていくという、運行体制一体化というのを柱として取り組まれたというのがおそらく他に例がない取り組みだと思っております。もちろん関係のこの協議会の皆様と事業者もそうですし、網計画の頃から佐世保市の方が音頭を取って、ずっと丁寧に対応された賜物なのだと思っております。今回作り直した計画に則ってやっていくということですが、ぜひより良い取り組みを追加して、先ほどのデータの話もちろんそうですし、より良い公共交通の形にこの協議会の場を通じて作って行ければいいと思っておりますし、先ほどの話も含めて運輸支局、支局ともども頑張っていきたいと思っていますところです。

(九州運輸局長崎運輸支局：高田オブザーバー)

再編実施計画の策定、バス運行体制一体化に至るまでの関係者のご尽力に敬意を表します。バス運行体制一体化をしてその効果が表れるのはこれからだと思いますので、引き続き長崎運輸支局としてもフォローしていきたいと思っております。

私事ですが、人事異動のため本協議会に私が出席するのは今日が最後となります。朝長市長様はじめ関係者の皆様お世話になりました。

(朝長会長)

ありがとうございました。

バスの運行体制一体化は始まりましたが、全体の公共交通の活性化に向けて、今後とも力を尽くす必要がございます。委員の皆様のお力添えをぜひお願いしたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、本日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございました。

私から事務局へお返しいたします。

(事務局：福井)

皆様お疲れ様でした。

これをもちまして本日の平成 30 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(終 了)